

## 平成21年度第2回石狩浜海浜植物保護センター運営委員会資料

### 1. 車乗り入れ自主規制地域について

市の自主規制地域については、シーズン始めに、ロープの切断による侵入を防ぐため、ワイヤーや鋼管杭により柵を補強した。また、啓発用の看板を侵入口となっている箇所を立てた。

その効果もあり、シーズン中の侵入は、3件と、昨年を大きく下回った。

なお、市自主規制区域外は、侵入走行がいまだ著しい(別紙写真)。

### 今後について

### 2. 地域交流会について

名取はまぼうふうの会で考える、交流会の目的

「海浜植物や海岸に関するより高い知識や技法を学ぶ」と、「それらを活かした地域再生(まちづくり)のあるべき姿を探る」ことの双方を視野に入れた各地の交流(事例発表、意見/情報交換)

センターで考える今後の開催パターンについて

#### 1) 造園学会のミニフォーラムを活動発表情報交換の場として活用

利点: 継続開催が可能。開催費用負担が少ない。学術的情報を得られる。

交流団体は、民間、大学、行政問わず。

課題: 参加者の交通費負担。

#### 2) 活動団体による開催の持ち回り

活動団体同士の交流であるべきだが、保護センター等行政主催の場合もあり得る。

##### a) 石狩で開催の場合(H22)

利点: 市民グループの参加が容易。道内他団体等への参加呼びかけができる。

保護センターが開催サポートする。

課題: 一回開催はできるが、継続開催は市としては難しい。

##### b) 他地域で開催の場合(H23以降)

課題: 市の予算では参加できない。市民グループの参加が難しい(交通費)。